

0.1 . 令和元年度における概況

(1) 上水道事業

令和元年度末の事業数は29である。

全事業の現在給水人口は1,790,652人で前年度(1,800,914人)より10,262人(0.6%)減少している。

年間給水量は249,830千 m^3 で、前年度(251,985千 m^3)より2,155千 m^3 (0.9%)減少しており、実績1日最大給水量は765,491 m^3 で、前年度(799,516 m^3)より34,025 m^3 (4.3%)減少している。

給水収益は36,436,489千円で、前年度(36,641,579千円)より205,090千円(0.6%)減少し、給水人口1人あたりの水道料金負担額は、年間20,348円となっている。

年間取水量は257,210千 m^3 で、前年度(261,735千 m^3)より4,525千 m^3 (1.7%)減少し、取水量に対するロス率2.9%である。

年間有収水量は213,848千 m^3 で、有収率は85.6%である。年間有収水量を用途別に見ると、最も多いのは生活用の170,350千 m^3 で、次いで営業用の33,247千 m^3 となっている。

供給単価は170円/ m^3 である。

(2) 簡易水道事業

令和元年度末の事業数は26である。

全事業の現在給水人口は8,436人で、前年度(9,138人)より702人(7.7%)減少し、年間給水量は1,638千 m^3 で前年度(1,503千 m^3)より135千 m^3 (9.0%)増加した。

1日平均4,488 m^3 を給水しており、前年度(4,118 m^3)より370 m^3 (9.0%)の増加となった。

年間有収水量は1,040千 m^3 で前年度(1,065千 m^3)より25千 m^3 (2.3%)減少し、有収率は63.5%であった。

(3) 専用水道

専用水道施設は154であり、現在給水人口は8,630人である。

154施設のうち、水源が「自己水源のみ」のものが63施設で現在給水人口は1,289人、それ以外の「他の水道事業から給水を受けている(自己水源との併用も含む)」ものは91施設で現在給水人口は7,341人である。